

会議録

会 議 名	令和元年度第 1 回芸術文化会館大規模改修検討会	
日 時	令和元年（2019 年）7 月 29 日（月）18 時 00 分から 19 時 30 分	
場 所	生涯学習センター（クリエイトホール）第 2 学習室	
出席者氏名	参加者	本杉 省三・能祖 将夫・白澤 宏規・坂田 宏之・熊坂 麻由美・岩村 偉史
	説明者	市民活動推進部長・学園都市文化課長 ほか 4 名
	オブザーバー	（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団 事務局長
欠席者氏名	竹元 正美	
議 題	（1）芸術文化会館基本構想について （2）芸術文化会館大規模改修基本計画について （3）その他	
公開・非公開の別	「公開」	
非公開理由	-	
傍聴人の数	0 人	
配付資料名	〔事前配付資料〕 ・資料 1 芸術文化会館大規模改修基本構想 〔当日配付資料〕 ・資料 2 令和元年度芸術文化会館大規模改修検討会の開催予定 ・資料 3 芸術文化会館大規模改修事業コンセプト ・資料 4 芸術文化会館トイレ検討図	

会議の内容

議題1 芸術文化会館基本構想について

事務局

～ 資料1 説明 ～

座長

何か質問・意見はあるか。

参加者

～ 特になし ～

議題2 芸術文化会館大規模改修基本計画の策定について

(1) 令和元年度芸術文化会館大規模改修検討会について

(2) 芸術文化会館大規模改修事業コンセプト

事務局

～ 資料2・3 説明 ～

副座長

改修計画を本検討会で議論するにあたり、館内の各場所の名称について、共通認識を持って進めていく必要がある。

座長

本検討会では、どのような改修を行っていったらよいか。また、それに対する優先順位について議論していく。

今後の流れについて、事務局からもう一度ご説明いただきたい。

事務局

ホールや展示室、会議室など、施設ごとに御意見をお聞きする。

今回は、ホールについて、図面や資料を提示し、具体的に御議論いただく予定である。

座長

ホールの場合、どの程度議論するのか。舞台・客席・楽屋などについて議論するのか。

事務局

客席・舞台・楽屋など、ホールに関連する各所について議論を行う予定である。

参加者

設備についても、この会議で扱うのか。

バトンを何本にするかについては議論ができるが、そこにどのような物を吊るかまでは、議論はできない。

副座長

劣化改修や法適合は、必ずやらなければならないことであり、議論の余地はないと思われる。一方、機能改善や充実については、議論できる内容である。

議論できる部分については、具体的に資料を提示いただくのが良い。

座長

特定天井については、法適合のための改修であるが、手法によって金額も大きく変わってくる。

必ずやらなければならないことについては、細かな議論まではせず、確認と質疑程度としてもよいのではないか。

参加者

基本構想で行ったアンケートに対する対応については、基本計画で検討していただきたい。

副座長

基本構想の「大規模改修の方向性と目指す姿」にある「まちの広場となる開かれた施設」については、新たな使い方をする部分である。そこについては、議論をしっかりとしていくことが必要ではないか。

事務局

今年度の検討会の中で議論を行っていく。

座長

各回の議論を1回きりで終えるのではなく、オーバーラップさせながら進めていくことや、次回の資料説明を行い、各参加者が持ち帰って検討するなど、進め方を工夫することが必要だと思う。

参加者

自分たちが施設を利用している中で、特段不足している機能等はない。客席の見易さや千鳥配置などができるのであれば、行っていく必要があるのではないか。

また、音響・照明設備のデジタル化は行われていないのか。今はタブレットで音響の調整している。そのような舞台設備の機能向上がなされると良いのではないか。

舞台上に映像配線があると使いやすい。

(3) トイレ洋式化等の検討について

事務局

～ 資料4 説明 ～

座長

現状のトイレの面積を変更せずに検討したということか。

事務局

現段階ではそのような検討を行った。

参加者

トイレのバリアフリー化の現況はどのようになっているか。

事務局

ハンディキャップトイレは現状でも設置している。一方で、オストメイトなど、時代の変化に対応していく必要がある。

座長

今回の検討にあたっては、それぞれのトイレをどのように改修するかではなく、改修の方向性について御意見をいただければと思う。

副座長

トイレの改修は、バリアフリーや洋式化、トイレの数の不足に対応していく必要がある。

また、トイレが特に不足している箇所については、共用部の正面エントランスや市民ロビーなどの場所であると感じている。1F のインフォメーション部分の事務室に、トイレを増設することはできるのではないか。

座長

様々なホールで休憩時間とトイレの時間は苦勞している。また、男女比も演目によって異なり、案内の方が対応する部分も少なからずある。

参加者

現在の検討では全て洋式化となっているが、一部和式を残した方が良いのではないか。

また、自分がこの施設を利用した時、客席は満席であったが、ホール内のトイレの数は足りていたように感じた。

座長

和式を残した事例もあるが、オープン後「なぜ和式を残したのか」という声があったという話も聞いている。

次の改修まで長期に及ぶことになるので、中長期の展望で考える必要がある。

事務局

他のホールの改修事例において、和式を残した事例、全て洋式とした事例もある。

どちらを選択していくかは、引き続き検討していく。

参加者

この検討会では方向性を定めていく役割ということであれば、一部和式化の話題はあるが、原則洋式化とし、トイレの数は少しでも増やしていく、バリアフリーへの対応ということになるのではないか。

副座長

リニューアルオープン後の市民からの評価として、トイレは重要であると考えている。

座長

最近、男子トイレ・女子トイレの境を動かせる事例もある。

ただ、概ね女子トイレが多くなったままになっている。

参加者

演目によって、男子トイレが女子トイレに切り替わるなど、運用で工夫を行っている事例もある。

最優先事項は数であると思う。

参加者

いちようホールのトイレは狭い印象がある。

参加者

照度はどうか

事務局

どちらかというとき暗い印象がある。

座長

近年どこも明るくなっている。

参加者

他の劇場の事例で、手荷物をかけるフックが女性には高く、全て下げたという話を聞いたことがある。

参加者

女子トイレについては、姿見や洗面台の鏡が大きいなど工夫があるとよい。

トイレについては大事なところであると思う。

参加者

現状のままであるとトイレの見直しについて限界がある。既存のスペースでトイレに変えることのできる場所を探していく必要がある。

例えば、劇場のレストランは、全国的に稼働率が低い傾向がある。そのような場所をトイレに転用していくこともできるかもしれない。

議題3 その他

事務局

前回検討会の会議録の校正をお願いしたい。1週間を目途にご意見をいただきたい。また、本日の会議録についても同じように校正をお願いしたいと考えている。

次回の日程については、10月頃を予定している。日程は決定次第ご連絡させていただく。